



プロの指導を受けて



「北海道日本ハムファイターズフィールドクラブ(少年野球教室)」が若葉球場で開催され、少年野球チームから61名が参加しました。今年で10回目の開催となり、元ヤクルトスワローズ投手・牧谷宇佐美さん、元日本ハムファイターズ投手・村上真哉さんが指導を行い、一人ひとりに守備やバッティングなどの基本を教え、子ども達は真剣に学んでいました。(6月29日)

目指すは一流調理人



当別高等学校(本庄幸賢校長)の家政科食物調理コース8名の生徒が日頃の実習成果を知ってもらおうと、当別町共生型地域オープンサロンにて「1日コックさん」を行いました。3年の成田優歌さんは「メンバー21名で何度も話し合いや試作を行いドリアやスープ等を調理しました。」と少し緊張しながらも笑顔で話していました。

ランチを食べた方からは「学生の努力が味に表現されている。とても美味しかったので、次回も是非食べに来ます。」とエールを送っていました。(7月4日)

手拍子合わせて



当別夢の国幼稚園(砂田敦子園長)で夕涼みの会が行われました。当日は、年長組66名が4班に分かれ、買い物を行い、実際に米とぎや包丁を使って野菜を切ったあと、カレーライスを作り全員で食べました。

また、夕方からは園児全員が参加して盆踊りを行い、商工会青年部が太鼓を披露し、子ども達は楽しそうに踊っていました。砂田園長は「年長組にとっては、園で過ごす最後の夏なので食育も学びながら楽しい1日を過ごせたのでは。」と話していました。(7月11日)

広告

広告

広告

広告

気分は外国人!?



まちの特徴を活かした子育て環境づくりを目指す、住んでみたい当別推進協議会(山田明会長)主催のキッズアカデミー「えいごくらぶ」が西当別コミュニティーセンターで開催され、小学生27名が参加しました。

講師が英語で挨拶したあと、アクションゲームや英語のかかるた等を行い、子ども達は夢中になり参加していました。町内在住のマンソン・リックさんが英語の絵本を感情豊かに読み聞かせると、子ども達は興味深く聞き入っていました。今後、5回開催される予定です。

(7月13日)

本庄陸男氏を偲んで



34歳の若さで亡くなった当別町ゆかりのプロレタリア文学作家・本庄陸男氏の業績を称え、石狩川沿いに建立されている文学碑「石狩川」で、献花式が行われました。式は当別町観光協会が主催して、毎年行われています。

今年は式が行われる前に「石狩川」を読む会の堀江三千代さんによって、本庄陸男氏の紹介と石狩川の朗読も行われました。

その後黙祷と献花が行われ、当別音頭を守る会の会員が碑の前で「当別音頭」「三叉時雨」を踊り、本庄陸男氏を偲びました。

(7月19日)



広告

広告

広告

広告